

1 基本情報

事業名称	南区子どもウェルビーイングシステム事業			
事業目的	児童虐待の未然予防を図り、地域と連携して子どもの権利を保障し、その成長を支援する。			
事業概要	こどもの自己肯定感や自己有用感の向上を図るプログラムを実施するとともに、これらを担う職員のスキル向上にも取り組む。また、養育者に対しては体罰禁止の理解を促し、安全・安心な子育てができるよう支援する。さらに、『南区子どもサポートプラットフォーム』を活用し、教育機関や地域の子育て支援者との連携・情報共有を進め、地域全体でこどもの支援につなげていく。			
実施主体	南区役所 子育て支援課	実施場所	南区内他	実施時期 通年

2 設定指標

活動指標	ポジティブ・ディシプリンプログラムの参加人数		R4	R5	R6	R7
		目標	62	96	96	80
		実績	50	84	76	63
成果指標	各事業への参加者の満足度		R4	R5	R6	R7
		目標	95	95	95	95
		実績	96.5	94.5	93.5	96.7

3 事業評価

決算額 2,245,899 円

①妥当性	◎	②費用対効果	○	⑤総合評価	◎	評価基準 ◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
体罰禁止の法改正を踏まえ、こどもの権利や健やかな育ちに関する啓発は継続して必要である。今年度も養育者向け講座や講演会等を通じて理解促進を図ることができ、本事業の目的は引き続き妥当である。		養育者支援プログラム「ポジティブ・ディシプリン」は、過去4年間の参加率が平均8割以上と高水準を保っている。養育者がこどもへの理解や関わり方を学ぶ機会が広がることで、長期的には児童虐待の未然予防に寄与すると考えられる。		今年度も、妊娠期から18歳のこどもを育てている方やそのこどもをサポートし、児童虐待の未然予防を目的とした事業を推進することができた。その結果、満足度も高い水準で安定して推移している。地域と行政が連携する基盤がさらに強まり、こどもや家庭を切れめなく支援する仕組みが着実に育ってきている。南区全体としてこどもの育ちを応援する機運が醸成されつつあると実感できる一年であった。		
③庁内・公民等連携	◎	④区の計画への寄与度	○			
児童虐待の未然予防は行政単独で達成できるものではなく、様々な関係機関との連携が不可欠である。今年度も区内の教育機関や地域の子育て支援者と協働し、区民にとって満足度の高い事業を進めることができた。		教育機関や地域の支援者との連携を通じて、こどもの成長段階に応じた支援につなげる取組は、南区基本計画の「安心して妊娠・出産・子育てができるよう、切れめのないきめ細かな支援の充実を図る」という重点施策と高い整合性がある。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	区民への情報発信には課題が残っており、特に「親子さかすくナビ」を活用した情報提供については、アプリのインストール者数が少ないこと等、必要な人に十分に届きにくい現状がある。	今後の方向性	継続
対応方針	アプリの周知を進めるとともに、アプリ以外も含めた多様な情報発信手段の検討や、講演会のテーマ選定を区民ニーズに合わせて工夫するなど、区民の参加につながる施策をさらに強化していく。		